

## ChatGPT など生成系 AI の利用について

学生の皆さまへ

ChatGPT などの生成系 AI を利用すれば、特定の課題について膨大なデータベースをもとに要領よくまとめられた文章が瞬時に出力されます。適切に活用することができれば、生成系 AI は勉強や仕事の効率を高める有用なツールとなり得ます。しかし、安易に利用することは人間の主体性を損なうことになり、以下のような様々な問題もあります。

- \* 生成系 AI が作成した文章には誤った情報が含まれていることがある。
- \* 文章の内容を自分のものとして流用すると著作権侵害や剽窃となる可能性がある。
- \* 生成系 AI への質問内容（個人情報）が蓄積され他者に利用される可能性がある。

実際に ChatGPT にレポートを書かせてみると、要領よくまとまっていますが（複数の論文の寄せ集めですので）最大公約数的な総論で独創性はありません。このレポートを本学の教員に採点してもらったところ不合格（60 点未満）でした。また、学術的な論文を書くときに大切なのは、最初に論理的な筋道を立てて全体の構成を考えるプロセスです。生成系 AI が出力した文章に自分の意見を肉付けするとしても、論理の組み立てを考えると重要な学力を養うことができません。

本学として、学生の皆さんが生成系 AI を利用することを一律に禁止はしませんが、出力された文章を鵜呑みにしたレポートや卒業論文を提出することは認めません。教員は多くのレポート等を同時に採点しますので、違和感のある類似した内容があると直ぐに気づきます。授業のなかで生成系 AI を利用することについては、担当教員の指示に従ってください。

皆さんが生成系 AI などの最新のテクノロジーを適切に活用して、明るい未来を切り拓いていくことを願っています。

2023 年 7 月 21 日

学長 浅野嘉延